

低血圧に対する バソプレシン の使用について

実施内容	低血圧（特にショック状態）に対し、血圧維持を目的としてバソプレシンを静脈内持続投与する。
対象患者	・ 敗血症性ショックなどにより持続的な低血圧を呈する患者 ・ ノルアドレナリン 等のカテコラミンで十分な血圧上昇が得られない患者 ・ カテコラミン高用量使用に伴う副作用軽減を目的とする患者
承認日	2026年7月8日（承認外医薬品使用評価委員会 承認）
実施期間	承認日以降、継続的に実施する
目的・概要	ショック状態における低血圧は、臓器灌流の低下を招き、生命予後に大きく影響するため、迅速かつ適切な血圧管理が必要である。バソプレシンは血管平滑筋のV1受容体を介して血管収縮作用を示し、カテコラミンとは異なる作用機序により血圧を上昇させる。本来の適応は限定的であるが、敗血症性ショックなどの病態においては、カテコラミン抵抗性低血圧に対する補助的治療として有効性が報告されており、国内外の集中治療領域において広く使用されている。本適応外使用は、臓器灌流の維持および予後改善を目的として、適切な循環管理およびモニタリング体制のもとで慎重に実施する。
予想される 不利益と対策	【予想される不利益】 ・ 過度な血管収縮による末梢虚血（四肢、消化管など） ・ 血圧上昇に伴う臓器負荷 ・ 不整脈 ・ 低ナトリウム血症（抗利尿作用による） 【対策】 ・ 血圧、心拍数、尿量などの継続的モニタリング ・ 末梢循環（皮膚色、四肢冷感など）の観察 ・ 必要最小限の投与量で管理し、過度な昇圧を回避 ・ 血清ナトリウム値の定期的測定 ・ 異常時は速やかに減量または中止し、適切な対応を実施
■ 問い合わせ先	イムス葛飾ハートセンター TEL：03-3694-8100（代表） （受付時間：平日 9:00～17:00）